

地域図書館3館及び（仮称）八千代市立中央図書館・  
市民ギャラリーに係る意見募集の結果について

平成25年8月

八千代市

## はじめに

本市の4図書館のうち、特に3館については、老朽化や狭隘化が進んでいることから、市民の学習ニーズ等に応えることが難しくなっています。

このことから、地域図書館3館及び（仮称）八千代市立中央図書館・市民ギャラリーについて、今後の検討の参考とするため、平成25年6月21日から、平成25年7月7日まで意見募集を行いました。また、平成25年7月7日に開催しました「図書館等の現状と今後に関する説明会」では、会場の規模の問題から、会場に入れなかった方々がいらしたことや、さらなる説明会の開催を求める強い声も多数あったことをかんがみ、7月10日から7月18日正午までご意見の再募集を行い、合計26日間の意見募集期間に結果的に194人の方々からご意見いただきました。多数の貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

いただいたご意見の集計結果から概略的な特徴について記します。

まず、地域については、勝田台地域及び大和田地域の方からのご意見が半数以上を占め、阿蘇地域の方からは9件、睦地区の方からは0件と偏りが見られます。

また、年齢別に見ますと、60代以上の方のご意見が129件と多く、子育て世代である30代・40代の方は約13%と実際の人口に占める割合である31%を大きく下回りました。さらに、20代以下の方からは、まったくないという結果になりました。本来はもっと幅広い方のご意見をいただきましたかったのですが、当初の意見募集の期間が短かったことや、広報やちよに掲載できなかったことなどが影響したと思われます。

地域図書館3館（大和田・八千代台・勝田台）につきましては、存続・充実を望むご意見がほとんどでした。

（仮称）八千代市立中央図書館・市民ギャラリーの建設につきましては、建設することに賛成意見が62件、反対意見が128件、どちらでもないが4件という結果になっています。その構成を年代別で見ますと、60代以上の方の反対意見が66%以上占める結果となっています。

結びに、地域図書館3館（大和田・八千代台・勝田台）及び（仮称）八千代市立中央図書館・市民ギャラリーに関する多数のご意見の概要等及び論点整理を以下にまとめましたので、ご覧いただきますようお願い申し上げます。

「住み続けたいと思える八千代市」の実現に向け、全力で取り組む所存でございますので、今後とも市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

平成25年8月

八千代市長 秋葉 就一

## 目 次

1	意見募集の目的	1
2	実施期間	1
3	募集結果	1, 2
	(1) 提出された意見数	
	(2) 各意見	
	(3) 男女比率	
	(4) 地域・年齢別	
4	地域図書館3館（大和田・八千代台・勝田台）についての主な意見	3
5	（仮称）八千代市立中央図書館・市民ギャラリーについて	4
	(1) （仮称）八千代市立中央図書館・市民ギャラリー建設に関する賛否数	
	(2) 居住地域別	
	(3) 年代別	
	(4) 主な意見	5
	① 賛成意見	
	② 反対意見	
	③ 中立的意見	
6	むすびに	11

## 地域図書館3館及び（仮称）八千代市立中央図書館・市民ギャラリーに係る意見の募集結果について

### 1 意見募集の目的

本市の4図書館のうち、特に3館については、老朽化や狭隘化が進んでいることから、市民の学習ニーズ等に応えることが難しくなっています。このことから、地域図書館3館及び（仮称）八千代市立中央図書館・市民ギャラリーについて、今後の検討の参考とするため、意見の募集を行いました。また、平成25年7月7日（日）に開催した、「図書館等の現状と今後に関する説明会」では、会場の規模の問題から、会場に入れなかった方々がいらしたことや、さらなる説明会の開催を求める声も多数あったことをかんがみ、意見の再募集を行いました。

### 2 実施期間

平成25年6月21日（金）～7月7日（日）まで （17日間）

平成25年7月10日（水）～7月18日（木）正午まで （9日間） ※再募集期間

### 3 募集結果

#### (1) 提出された意見数

提出者数	有効提出者数	無効提出者数
204人	194人	10人

※ 無効提出者のご意見についても、「参考意見」として、収受しています。

#### (2) 各意見数

①	②
148件	200件

##### ① 地域図書館3館（大和田・八千代台・勝田台）について

上記有効提出者数のうち、46件が白紙であったため、148件となりました。

##### ② （仮称）八千代市立中央図書館・市民ギャラリーについて

上記有効提出者数のうち、6名が重複していたため、200件となりました。  
なお、重複されている方については、2度目のご意見を優先としました。

(3) 男女比率 ※有効提出者数のみ

	男性	女性	記載無
意見数	110	75	9
構成比率	56.7%	38.7%	4.6%

(4) 地区・年齢別 ※有効提出者のみ

地区/年齢	大和田	高津・ 緑が丘	八千代台	勝田台	村上	阿蘇	睦	合計
10代	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	0	0	0	0	0	0	0	0
30代	7	0	1	1	0	1	0	10
40代	8	2	1	2	2	0	0	15
50代	7	0	1	1	4	0	0	13
60代	9	5	4	16	11	2	0	47
70代以上	9	8	7	44	10	4	0	82
回答無	5	4	5	7	4	2	0	27
合計	45	19	19	71	31	9	0	194

#### 4 地域図書館3館（大和田・八千代台・勝田台）についての主な意見

- ・ 建築経過年数からすると大和田図書館と八千代台図書館は旧耐震基準のようですが、耐震改修等が行われているかがまず気になる所です。図書館の整備・維持管理については、財政負担が特定の時期に集中しないようにするために、既存4館と新設館を併せた「全体計画」を策定すべきであると考えます。
- ・ 現在の既存図書館は狭く市民が気軽に出入り出来る様、改修等で考えていただきたいです。
- ・ まず、老朽・狭隘化が進み気分的に行きたい気持ちになれません。
- ・ 3館はそれぞれアクセスも良く地域に根付いているので、耐震工事等を十分にしてい、維持して行くことを希望します。
- ・ （7日の説明会をうけて）3館の現状は老朽化以外にも、利用について課題が多いのがわかりました。それに伴い3館とも建て替えを提案します。まずは、築年数別で、大和田図書館→5年後に八千代台→10年後に勝田台という具合に行うと、予算配分やそれに向けての積み立てもできるかと思います。
- ・ 大和田図書館は八千代市の歴史がわかる書籍もたくさんそろっており、調べ物をする場合にもとても利用価値が高く、地域にはなくてはならない施設だと思っております。
- ・ 地域図書館はお年寄りや子供達でも徒歩あるいは自転車で利用できるのも絶対に必要です。
- ・ もっと図書購入費を増やす。
- ・ 県内の他の市の図書館に比べおそまつ過ぎる。
- ・ 勝田台図書館を利用しておりますが席の確保に苦労しております。快適なスペースを期待いたします。蔵書数も少なく拡張を期待いたします。

## 5 (仮称) 八千代市立中央図書館・市民ギャラリーについて

### (1) 中央図書館・市民ギャラリー建設に係る賛否

	賛 成	反 対	どちらでもない	合 計
意見数	62	128	4	194
構成比	31.9%	66.0%	2.1%	100.0%

### (2) 居住地域別

	意見数	構成比 (市全体)	賛 成	反 対	どちらでもない
1 大和田	45	23.2% (25.1%)	18	27	0
2 高津・緑が丘	19	9.8% (22.0%)	5	14	0
3 八千代台	19	9.8% (17.7%)	6	12	1
4 勝田台	71	36.6% (8.4%)	19	49	3
5 村上	31	16.0% (17.7%)	12	19	0
6 阿蘇	9	4.6% (5.3%)	2	7	0
7 睦	0	0.0% (3.8%)	0	0	0
全 体	194	100.0% (100.0%)	62	128	4

### (3) 年代別

	意見数	構成比 (市全体)	賛 成	反 対	どちらでもない
10代	0	0.0% (19.5%)	0	0	0
20代	0	0.0% (9.8%)	0	0	0
30代	10	5.2% (14.6%)	1	9	0
40代	15	7.7% (16.6%)	7	8	0
50代	13	6.7% (10.7%)	8	5	0
60代	47	24.2% (13.7%)	15	30	2
70代以上	82	42.3% (15.1%)	26	55	1
無回答	27	13.9%	5	21	1
全 体	194	100.0% (100.0%)	62	128	4

※ 上記分類表は、有効提出者のみ集計したものです。また、意見の賛否につきましては、いただいた意見内容から市が分類したものです。

#### (4) 主な意見

##### ① 賛成意見

- ・ 目先の財政や感情論で整備を断念することは、八千代で暮らしていくであろう市民（特に子どもたち）にとって不幸なことであり、学習する権利を奪うものであると考えます。
- ・ 将来を担う子どもたちを育て、教養を高めるためにも図書館のような施設には金をかけるべきであり、市民としては、そのための資金ならば負担すべきと考えます。
- ・ 将来に向け必要なものは、実現してもらいたい。
- ・ 子どもたちに充実した教育環境を提供するという意味でも大切な事業と考えます。
- ・ 今は財政面で大変でしょうが、作って良かったと後世に残したいものです。
- ・ 少子化という時代においても、八千代市の小学生の人口比率は多い方だと思います。たくさんの良書と出合うチャンス（環境）をいただけるのは、母親としてうれしい限りです。
- ・ ひところ人口増加が続き子どもの数も増加した八千代市ですが、今後更にこの町を文化的に発展させていくためには、住民が豊かに、満足して暮らしていける環境を作っていくことが重要なのではないかと思います。
- ・ 目先の問題だけにこだわらず10年20年後の八千代市の未来の姿を見据えて、今どうすべきかを考えてほしいです。
- ・ 大変期待しています。本の量も多くなり、設備も充実したものになると思います。大人にとっても、子どもにとっては尚更、頭も心も豊かにしてくれる良書との出合いの場を増やすということは、とても重要で価値のある事だと思います。
- ・ 八千代市の中心の図書館として、是非、建設、開館していただきたい。蔵書数も地域図書館とは比較にならない程、充実していると推測できるもので次代の子どもたちのために是非、開館して欲しい。
- ・ 駐車場、学習室、児童エリア、おはなしのへや・・・本当に、必要な施設が揃っており、小さな子どもから大人まで一日いても楽しめる施設だと思います。ギャラリーが併設されるのも大歓迎です。
- ・ 計画地は、周辺の運動施設を利用する人・散策する人・釣りをする人など多くの人が往来する非常に良い場所だと思います。
- ・ 現在ある3図書館を整備したとしても、駐車場が極端に少なく、他地域からの利用は不可能。（実際に駐車ができずに利用ができない。）
- ・ 立地条件も市のほぼ中央と利便性も良く、このような明るく近代的な中央図書館・市民ギャラリーができれば、魅力ある都市づくりにも大きく寄与すると思います。
- ・ 本市にとって新川周辺は、他市には真似できないすばらしいアメニティゾーンである。中央図書館をはじめとする整備計画は何年も前からずっと楽しみにして待ちわびていた。
- ・ 水と緑の良き環境の中に立つ、いこいの場所として、又、文化都市にふさわしい八千代のイメージとしても、さらには、子どもたちの教育の発信地として建設され



ることを切に望みます。

- ・ 賛成だが、計画のコスト面での全面的な見直しを短期間で行ってほしいと考えます。
- ・ 30年前から美術館建設を大いに希求してきた私どもにとって図書館併設の市民ギャラリーとして、生まれることは多少残念ではありますが、希望がやっとかなったと喜びで一杯でした。ところが、この2・3年「箱もの反対」等と大変ひどい「なかみ」のない意見が出てきたことは、永年要望してきた私どもにとりまして、市民の中には、こんなまずしい発想をする人々がいるのかと慙愧に堪えません。将来的には教養・文化・芸術の中心として、育てていかねばならないこの施設を「箱」という言葉一つで反対されるのは、誠に市民として「ナサケナイ」の一言です。
- ・ 多くの方々の努力によりやっとここまで、こぎつけたこの事業が土壇場の市長退任、交代による一連の政治的背景で頓挫してしまうのは、無念でなりません。本当に市民の意見が正確に反映されているのでしょうか。一度振出しに戻ったら、もう二度と実現のチャンスは来ないのではないかと危惧しています。一言で無駄なハコモノと言い切れるのでしょうか。
- ・ 十数年前、県立図書館が八千代市にできるということを知り、本に親しむ環境の下で子育てをしたいと思い、引っ越してきました。その後、県立中央図書館は中止となりましたが、市民の要望署名もあり、市立図書館ができることになり、議会で承認されました。にもかかわらず今の段階になって中止になるというのは納得がいきません。
- ・ 現八千代市図書館は貧弱で利用し難い。小さな施設を数か所作るより、そこに行けば読みたい本があるという様な施設にしてほしい。
- ・ 現在計画中的新図書館について、「無駄なハコモノ中止」との声があり、市としてもこの流れに沿って建設の中止を検討しているとのことですが、目先の財政収支均衡のみとられず、幅広い視野と長期的観点から、是非とも再考いただき、計画どおり早期に建設を実行していただきたいと考えます。

## ② 反対意見

- ・ 「八千代市民の多くは、ハコモノ行政に危機を感じて秋葉市長に票を投じたわけで、無駄な支出に歯止めをかけていただきたいと思いがあると思います。」
- ・ 「今回の市長選挙の結果から見ても、図書館・市民ギャラリーについては、無駄を極力省き不急なものは後回しでもよいとする意志の表明ではないでしょうか。」
- ・ 「市長自ら、正式な凍結宣言を下すべきです。」
- ・ 「市長は公約を守ってほしい。」
- ・ 「民主主義の原則として、今回の選挙結果を尊重して、これらの計画は一時、凍結して、その財源を福祉・子育て・教育のために活用して頂きたいお願い致します。」
- ・ 「選挙の結果は、市民の多くはハコモノに予算を使うことに反対していると思われる。作ることを中止すべきだ。」
- ・ 「新市長は、公約を実現することが任務と思われる。」
- ・ 「新市長は、大多数の反対（ハコモノ）で当選し、市民が応援しているから市議を説得してほしい。」
- ・ 「市長選後の豹変ぶりは、今回の選挙の有意性を減じ信なくんば立たずの政治の原点を失わせる。」
- ・ 「市長一人では中止できないのだから、市役所内部に企業等を引き込む部署をつくれ。（市長はもっと部下を使うこと。一人じゃ何もできません。）」
- ・ 「過日の市長選挙の結果は明らかにこれらの施設の建設にNO！を突き付けたと思います。」
- ・ 「秋葉市長もこの計画に反対していたはずですが。その理由は、八千代市の危機的な財政状況と、福祉施策や公共施設の維持管理が後回しになっている現状を知っていたからではないでしょうか。」
- ・ 「仮契約を締結したものは、本契約するという秋葉市長の考えでは、そもそも八千代市立中央図書館・市民ギャラリーを中止する考えがあるのか甚だ疑問に感じています。」
- ・ 「秋葉市長は、選挙前には箱ものは建設中止を含めた大幅な変更を実施すると八千代市民に約束して22,000票を獲得したのではないですか。どのような困難があろうとも、箱もの建設中止に邁進すべき。（さまざまの困難は以前から予想されていたからね。投票日の前日八千代台駅前の午後5時半の街頭演説会でも、もう間に合わない等とは一言も言いませんでしたよ。もし、あの時もう間に合わないと言って下されば、私たち20名は秋葉さんに投票しませんでした。）」
- ・ 「秋葉市長！！苦しい立場良く分かりますが、細かい説明や言い訳で事務屋になり下がらず、体を張って市民の代表として頑張ってください。」
- ・ 「建設コストが32億とものすごい事になっているのに加え、非常に場所が遠く利便性が悪い、そして川沿いで液状化リスクもあり非常に地盤が悪いというデメリットが揃っています。これだけのデメリットばかりの計画は中止して頂きたい。市長は間違ったことはしていませんが秋葉市長が掲げている公約の実現、住み続けた

いと思える八千代市実現に向かっていただくことを強く望みます。」

- ・ 「新川計画そのものの大幅見直しを期待していた人たちの気持ちに理解を示してほしいと思います。」
- ・ 「少数与党であることは、初めから分かっていたことじゃないですか。弱音を吐くな。」
- ・ 「勇気をもった撤退を望みます。」
- ・ 「現時点以上の出費は体を張っても阻止してほしい。」
- ・ 「市民の意見を聞く会をさらにやるのかに対する答えがなく強引に閉会させたやり方はけしからんと思います。さらに図書館問題について意見を聞く会を要求します。」
- ・ 何事も変革には「あつれき」が伴うものです、議員の方々も努力してください。
- ・ 市民の代表の市議一人ひとりが本当に必要と思っているのか。
- ・ 議員はハコモノ建設の発想から脱却して、日常生活に直結した福祉・教育・子育ての市政に目を向けて欲しい。
- ・ 市議会議員の人たちももっとしっかり考えてほしいです。自分の利害ばかり考えずにしっかり仕事をしてほしいと思います。
- ・ 今本当にやるべきことは、何なのか。議員の方々には、市民の立場に立ってしっかり考えていただきたい。
- ・ 八千代市の財政危機は深刻だと思うので、安定してからの着手が望ましい。
- ・ 市財政が困難な時期に膨大な借金をすることを避けるべきです。
- ・ 限られた人員のみの利用のために血税をつかうのは、公平性に欠ける施設であり、新設するべきではない。
- ・ お金をつぎ込むより心を大切に行政をお願いします。
- ・ 多くの市民が利益を享受できることに税金を使って欲しいです。
- ・ 子どもや孫にこれ以上の借金は残したくありません。
- ・ 「立派なハコモノ」のツケは次世代の市民を苦しめるだけです。
- ・ 財政規律を改善してから建設計画してください。
- ・ 図書を購入する予算にも不自由している状態なのに、新しい箱もの中央図書館等建設してどうするんですか。
- ・ 市の負担額をそのまま子育て支援・福祉に回すことが福利厚生より、人口維持・増加に繋がり、他市に置いていかれる状況を解決するものだと考えます。
- ・ ハコモノより福祉・教育を。
- ・ 30,000人の署名があったとの事ですが、それは福祉タクシー、保育所の充実、学校の耐震補強、高齢者対策（養護老人ホーム）、子どもの医療費無料化等を遅らせても図書館を作ろうという要望なのでしょうか。また、その規模は、6,000㎡の延べ面積を持つ20億円以上の図書館を要望したのでしょうか。
- ・ 2つのハコモノ建設は凍結・中止して、その資金を別の事業に回すべき。
- ・ 子どもの医療費助成や福祉予算を充実させるための財源が必要ならば、ハコモノは中止すべきでしょう。
- ・ 維持管理で（子育て支援、教育、学校のトイレを直す）等遅れるのでは。

- ・ 豊田市政でなおざりにされて来た諸課題，福祉タクシーの復活（県内36市の中で唯一，支給されていない。），国民健康保険料の値下げ，（習志野市と比較して）・小中学校の校舎の耐震化・トイレ（和式から洋式・早急に）の改修・学校エアコンの設置・公民館の改修・修繕・保育園の改修・コミュニティバス（ぐるっと号）の充実等，直ちに改善してほしいものが山積み。
- ・ まずは，子どもたち等次を担う人が住みやすい街にすることが最優先です。大きなお金より小さな心の積み重ねの行政に期待します。
- ・ 市民のための文化向上を考えるならば，市内学童保育所の設備も考えて欲しい。
- ・ 建設や維持管理に係る予算を既存の図書館の施設・設備・蔵書を充実させることや，サービス向上に使った方が，市民は絶対に納得すると思います。そうすることが有益なコストダウンにもつながるでしょう。
- ・ 図書館は，現在ある図書館に手を加えることで十分です。
- ・ 図書館規模は現状のように分散し，規模的にも現在の状況が望ましいと思えます。
- ・ 今ある図書館を充実させていただければ，中央図書館の建設は必要ないと思います。
- ・ 身近にある図書館や学校の図書室の開放や内容の充実にお金を使って欲しいと思います。
- ・ 時間がかかっても「市民の声を聞き，知恵を出し合うような市政」がより住みやすい八千代市にしていくステップ。
- ・ ニーズもない不要不急のハコモノは無用です。
- ・ 中央図書館，市民ギャラリーは現在必要度は低いと考えます。
- ・ 設計は八千代市としては，立派すぎて無駄である。
- ・ 市民ギャラリーも民意が高まっているとは到底思えない。
- ・ ギャラリーについてもなぜ今必要なのか理解できません。
- ・ 市民ギャラリーについては不用です。市民がみんな利用する施設でもなく，無くても不都合がないものですので，計画に反対します。
- ・ 計画の広さ6,000㎡は異常であり，新しい蔵書40万冊も無駄だと考えます。
- ・ 巨大な図書館を平面的に配置しているため，立方体の施設に比較して，外壁，屋根面積は巨大となり，空調電力は大容量が必要で，省エネ時代に全く逆行する施設になっているので，メンテナンス費用も多額になる。
- ・ 建物の使いやすさの工夫やデザインはすばらしいと思うが，適切な広さか。値段か。市長選の公約通り，中止も含めた検討をしていただきたい。
- ・ 中央図書館・市民ギャラリーができて，利用しないと思います。その理由は，自宅から遠く，車でしかアクセスできないことが大きいです。
- ・ 駅から遠く利便性に欠けています。
- ・ 一部の利用者を除き，利用者は少なく，閑古鳥が鳴き無駄の見本となる。
- ・ 小さくてもいいから，徒歩や自転車でいける場所に図書館を作り，市民サービスを充実させることが重要。
- ・ 不便で誰が利用するのか。

- ・ 勝田台に住む者は、あの場所は遠くて多分利用できないと思います。
- ・ 交通の便が悪い所には、人は集まらない。地盤が悪い所に作らないで。
- ・ 新川は地盤軟弱で、建物を作る場所ではなく、また、利用に適した場所でもありません。長期的な見通しの上に立って、市民の意見を取り入れて進めましょう。
- ・ 被災地域では、公共施設をすべて高台に用地を求めて建て直しているではありませんか。
- ・ 建設予定地は、地盤が緩く液状化の危険があります。液状化対策工事にはお金がかかり、財政を圧迫します。
- ・ この地震大国の日本で液状化現象が起きる場所に大きなハコモノを作るなどもつてのほか。
- ・ 土地のゆるいところに建てるのは困ります。地震が起きたら何十億のお金が無駄になります。私の税金を大切に使ってください。
- ・ より堅固で安全な高台に設置すべきではないでしょうか。
- ・ 地盤強化のためだけでも予定されている工事費よりも多額のお金がかかるでしょう。

### ③ 中立的意見

- ・ 既に、決行が決って、着手され始めている行事を止めることは至難の技。その労力は計りしれぬ大きさ。先ず、そのより有効な活用策を検討具体的に示すべきかと思ひます。勿論、反対理由も。その一方、其れより、他に、やりたい実施すべき案を提案、その必要性効果を示し、中止して実行案を変更した方が良いと納得させることかと思ひます。必要、且有効策を提案、その実施価値を評価して貰ひ、現行案に代わる代案として、切り替えて行くのが良いかと思ひます。代わりに実施すべき案が無くては、誰も納得せず、単なる反対、反対では、寧ろ、反対者が増えるかと思ひます。良い市政の構築を目指し頑張つて下さい。

## む す び に

以上、回答者の特性（性別、地域、年齢）と、主な意見の概要をまとめました。

「はじめに」に記したこと以外の点でいくつか以下に記します。

まず、回答者の特性のうち、性別の記載のあった方の約6割が男性、つまり、女性の意見提出者が男性のその約3分の2しかありませんでした。また、10代から40代の方の割合が、実際の人口に占める比率（約51%）を大きく下回る約13%でしかありませんでした。

図書館や図書館の閲覧室などの機能や目的に照らしたとき、男女問わず利用していただく施設ですし、未成年世代の方々の利用も強く想定されていることから、女性の比率及び40代以下の比率が実際の人口に占める比率より著しく低かったことは残念でした。

回答者の地域特性については、現在の図書館空白区域の人口割合が約38%で、地域図書館のある区域の人口割合が約62%ですが、意見提出者の割合では前者が約26%で後者が約74%と、両者の比率は実際には2倍も開いていないのに3倍近い開きとなりました。また、勝田台地域については、実際の人口比率の4倍の方が意見提出されていました。

二つのテーマで意見募集した以上、現在の図書館空白区域からも実際の人口割合と同程度の意見提出があることを期待しておりましたので、やや残念でした。

ただ、現在地域図書館がある区域からの意見提出が多かったことは、地域図書館を守ってほしいという声が地域図書館のある区域から多く寄せられたことの裏返しだと思われます。

以下、回答内容についてです。

まず、地域図書館3館については、現状への不満はあるものの、記入のあった方のご意見は全て、建て替え・改修も含めて存続を求めていると解釈できるものでした。つまり、廃止してもよいとする意見はありませんでした。建て替えに際しては、財政負担が同時期に集中しないよう、時期をずらして行うとか、全体計画を立てた上で、といったご提案もいただきました。実際に、現在利用している建物が使えなくなるまでに、現地建て替えでいくのか、近傍移転新築にするのか、民間施設を借用するのか、複合施設とするのか、などを総合的に検討しなければなりません。皆様のご意見はその際に参考とさせていただきます。

次に、（仮称）八千代市立中央図書館・市民ギャラリーについてです。

本意見募集は、2点についての意見募集という形で市民の意見を募集したものであり、賛否を問う住民投票に代わるものとして実施したものではございません。1か月弱という期間に、約200名の意見提出がありました。総有権者数約15万5千人、先の市長選挙で投票に行かれた約6万人に占める比率が小さいだけでなく、4年前に実施した新川周辺地区都市再生整備計画に関するアンケートに回答された539人の4割にも満たない人数でした。従って、もともと賛否を問うものとして実施したものではないものの、今後の市政運営に反映させるものとして賛否に関わる数字をそのまま採用できるかと言えば、以

上の数字との関連で、そのまま直ちに採用できるだけの絶対数が集まったとは言えません。

しかしながら、賛成とみなしうる意見と反対とみなしうる意見に分類してみたところ、およそ1対2の比率でありました。

このことは、本事業が平成25年第1回定例会において、約4分の3の市議会議員が賛成して可決された平成24年度一般会計補正予算（第4号）と平成25年度一般会計当初予算に含まれていた事業であったことに照らすと、確かに疑問が浮かびます。

いただいたご意見を読む限り、場所、時期・優先順位、規模・金額、財政上のリスクなどについての市民への説明が、新川周辺地区都市再生整備計画がスタートした平成22年度前後から広報やちよや市ホームページなどで一定程度なされていたものの、十分でなかったことを物語っていると思われます。このことは、市として十分に反省しなければなりません。

他方で、先の市長選挙の前までに、本事業の電気設備と機械設備の入札は完了して仮契約まで締結されていたこと、現市長の選挙運動用ビラや選挙公報には本事業についての特段の記載はなかったことから、本事業を推進してもらいたいというご意見の方が、特段この意見募集に意見を提出しなかったとしても、事業の続行に影響を与えないと判断していたとも思われるので、賛成のご意見が今回少なかったことが全八千代市民の中で賛成のご意見が少ないことの証明にはなりません。

また、反対のご意見と思われる意見提出者の数は128名ですが、現市長の先の市長選挙における得票数22,126票との対比で見ても、0.58%と極めて低い率にとどまっています。さらに、図書館空白区域とみなしうるゆりのき台と萱田の方は11名でしたが、そのうちの7割強である8名が賛成でした。同様に図書館空白区域である村上地区の賛成の比率は約37%と、大和田地区を除く他の地区よりも賛成の比率が高くなっていました。

従って、いただいたご意見を分類してみた場合の賛否の比率が1対2という開きを見せたものの、絶対数や以上の考察も踏まえると、もともと意見募集として行ったものであり、事業の継続の可否の判断に直ちに影響を与えうる数字とみなすことは難しいと思われます。

しかしながら、ご意見の中に、優先順位、規模、財政面などの各種広範なご意見が多数あったことは、今後の他の分野も含めた市政運営に当然生かしていくべきものですので、しっかりと参考にさせていただきます。

最後に、意見募集に応じて下さった方々全員に厚く御礼申し上げます。

平成25年8月

八千代市長 秋 葉 就 一